

今日のトピック NYダウ下落局面での各種資産の騰落率 通貨（対円）は総じて小幅な調整にとどまった

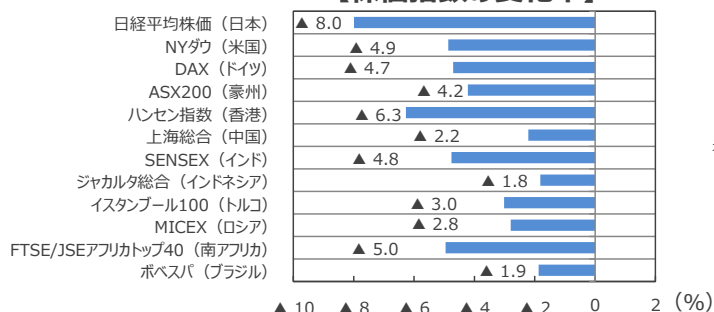
ポイント 株式やリートが下落する中、通貨は総じて落ち着いた動き

- 米国の金利上昇からNYダウが下落し、世界の金融市場は大きく調整しました。2月1日から2月6日にかけてNYダウは4.9%の下落でしたが、日経平均株価は同8%の下落と主要国・地域の下落率を上回りました。
- 10年国債利回りはトルコやインドネシア等新興国が、社債利回りは米国ハイイールド社債が大きく上昇しました。また、リートも調整を余儀なくされました。商品は原油（WTI）や金が下落しました。
- 株式、債券市場が調整色を強める中、各国・地域の通貨は対円で小幅な下落にとどまりました。マネーの流れに大きな変化を及ぼすような経済環境の変化が起きる可能性は限られそうです。

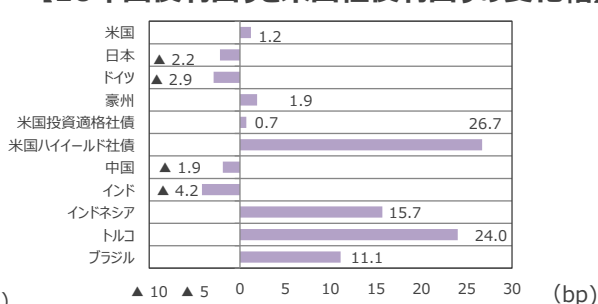
今後の展開 経済の見通しに大きな変化はなく、先行き期待は継続

- 金融市場はしばらく変動率の高い環境が続く可能性はありますが、通貨が小幅な調整にとどまったことが示すように、世界経済は、先進国のみならず新興国も回復途上にあり、先行きの見通しを変えるものではありません。金融市場の先行きに対する期待は継続していると考えられます。

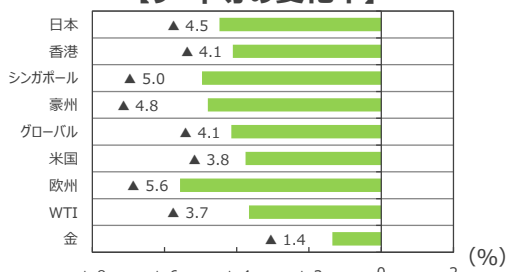
【株価指数の変化率】



【10年国債利回りと米国社債利回りの変化幅】



【リート等の変化率】



【通貨（対円）の変化率】



(注1) 2月1日と2月6日のデータで計算。株価指数、通貨、リート等は変化率 (%)、債券は変化幅 (ベースポイント)。
 (注2) 株価指数、主要国の債券、通貨、WTI、金はBloomberg L.P.のデータ。米国投資適格社債、米国ハイイールド社債はICE BoA メリルリンチのデータ。リートはすべてS&Pのデータ。現地通貨ベース。
 (出所) Bloomberg L.P.、ICE BoA メリルリンチ、S&Pのデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

ここも
チェック!

2018年2月6日 日米株式市場の見通し
 2018年2月5日 引き続き良好な内容だった米雇用統計 (2018年1月)

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。